

公 表 日

令和 2年 7月20日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	令和2年度 白川堰改築等影響調査検討業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 熊本河川国道事務所長 鈴木 学 熊本市東区西原1丁目12番1号
契約年月日	令和 2年 7月20日
契約業者名	(株) 建設技術研究所
契約業者の住所	福岡県福岡市中央区大名2-4-12
契約金額	29,986,000円(税込み)
予定価格	29,986,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり (※随意契約理由書を添付すること。)
業務場所	白川水系
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	令和 2年 7月21日
履行期間(至)	令和 3年 3月15日
備考	入札情報サービス(PPI) (http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

1. 業務件名 令和2年度 白川堰改築等影響調査検討業務
2. 履行場所 白川水系
3. 契約の相手方 住所：福岡県福岡市中央区大名2丁目4番12号
会社名：株式会社 建設技術研究所 九州支社
電話：(092) 741-2211
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、白川水系河川整備計画に基づき、白川下流に存する固定堰を可動堰へ改築するにあたり、改築等によって周辺に予想される影響の調査検討を行い、今後の河川整備の基礎資料とするものである。

2) 業務の内容

1. 河川の塩分濃度観測 …… 1式
2. 塩水遡上の現状把握 …… 1式
3. 塩水遡上解析 …… 1式
4. 地下水への影響検討 …… 1式

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を25者が入手（ダウンロード）し、4者から参加表明書が提出され、4者が参加資格を有していた。

参加資格を有する4者を技術提案書の提出者として選定し、技術提案書が4者から提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断される。

特に「配置予定技術者の成績及び表彰」は最も優れた評価であり、かつ「実施方針・実施フロー、工程表、その他」において業務内容の理解度が高く、業務実施手順ならびに工程計画が最も優れていること、及び特定テーマの「白川下流地域の地下水現況、白川の塩水遡上解析結果を踏まえた、今後の河川整備による地下水への影響を検討する上での留意事項について」に対する技術提案について本業務を遂行するにあたっての与条件との整合性、着眼点、問題点、解決方法等及び提案内容に説得力があり、提案内容を裏付ける類似実績などが明示され、最も優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

熊本河川国道事務所 調査第一課長